

(国産農畜産物供給力強靱化対策)

(都道府県名：宮城県 令和4年度)

市町村名	事業実施主体名	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①【共通目標】						成果目標の具体的な実績①	メニュー (対象作物・畜種等名)②	類別	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②【個別目標】						成果目標の具体的な実績②	海外展開に向けた進捗状況	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
			計画時(令和元年)	1年後(令和2年)	2年後(令和3年)	3年後(令和4年)	目標値(令和4年)	達成率					計画時(令和元年)	1年後(令和2年)	2年後(令和3年)	3年後(令和4年)	目標値(令和4年)	達成率					交付金	都道府県費	市町村費	その他				
山元町	株式会社やまもとファームみらい野	農畜産物の供給量の増加(25.3%増) (H29～R1平均値) 36.7t	39.0t	37.6t	32.3t	46.0t	-47.3%	いちごの供給量が36.7tから32.3t(-12.0%)に減少し、目標達成率は-47.5%となった。	野菜(いちご)	136	単位面積あたりの販売額の増加(50.5%増)	4,314千円	4,627千円	4,053千円	5,861千円	6,493千円	71.0%	いちごの単位面積あたりの販売額は4,314千円から5,861千円(35.9%)に増加したが、達成率は71.0%となった。	計画時にタイへの輸出を予定していたが、直行便が停止してしまった。その後、商社を通じて香港向けにサンプル送付を行っているが、2L・L中心のオーダーとなっており、出荷量不足のため、要求される数量を確保できない状態が続いている。生産技術改善により2L・Lサイズのロットを確保するよう努める。	【生産技術高度化施設】 低コスト耐候性ハウス栽培棟(60a)、自動灌水装置、環境制御システム、暖房・炭酸ガス発生装置、育苗ハウス、夜冷庫	152,790,000	69,450,000	34,725,000	17,362,000	31,253,000	令和3年3月30日	本事業で整備した施設(山下地区)とリース契約の単棟パイプハウス(逢隈地区)で栽培を行っており、逢隈地区では加温設備がなくウォーターカーテン等により保温を行っている。双方の地区に栽培管理者が1名ずつ常駐し、きめ細やかな栽培管理を行っているが、令和4年に逢隈地区の栽培管理者が急遽退職し、山下地区の栽培管理者が兼任している。令和4年に山下地区でうどんこ病やアザミウマによる被害が多発し、逢隈地区への作業指示の遅れや作業員不足が生じ、低温時での対応や防除作業が遅れ収量が減少した。目標未達成の原因は人員不足と考えているため、逢隈地区に栽培技術を習得した栽培管理者を常駐させ作業指示の迅速化を図る。うどんこ病対策としてUV-B照射機導入を検討し、アザミウマの天敵防除技術について農業・園芸総合研究所と連携して防除を行う。販売額については、卸業者を経由せず商社から実需者に販売する新たな取組や大手菓子製造企業との取引開始等により販売単価は上昇したものの出荷量不足により目標は達成していない。上記の取組により出荷量を確保し、引き続き関係機関や取引先等との連携して販路確保に務める。なお、輸出については、海外展開に向けた進捗状況のとおり。	目標未達の大きな要因である人員不足に関しては、普及センターと連携して栽培技術定着支援を行い、JAや関係機関と連携して栽培管理者候補の確保を促す。逢隈地区のほかでは、CO2施用機やウォーターカーテンでの保温となるため、農業・園芸総合研究所や普及センター等と連携し、クローン加温導入等の保温技術を支援し、収量確保を促す。一方、kg単価は計画時から大幅に向上している。技術向上により年内収量の確保、A品率の更なる向上を図るとともに、高単価での取引ができるよう、販路確保を支援する。これらの取組により、サンプル出荷を続けている輸出先との取引開始や県によるいちご輸出事業との連携を提案する。		
涌谷町	有限会社氏家農場	新型コロナウイルス感染症発生前に比べて農畜産物の供給量を48.5%(126.5t)増加	260.6t	282.7t	326.0t	384.8t	387.1t	98.2%	計画時の供給量から124.2t増加し、目標達成率は98.2%となった。	野菜(ねぎ類(小ねぎ、青ねぎ、白ねぎ))	131	全出荷量に占める加工向け又は外食・中食向けの割合を25ポイント増加	49.4%	93.7%	99.2%	99.8%	74.4%	201.6%	計画時に132.5tだった加工・外食・中食向け販売量を384.1tに増加できたことから、加工・外食・中食向けの割合は99.8%(50.4ポイント増加)となり、目標達成率は201.6%となった。	輸出先国の輸出規制調査や体制整備の検討、JETROやGFPからの情報収集、加工業者と勉強会等を実施しており、今後も輸出需要の調査等を実施し、GFP輸出計画策定の検討等に取り組んでいく。	【農産物処理加工施設】 ねぎ加工施設鉄骨造(1,285㎡)、加工機械(原体洗浄機、高速スライサー、自動昇降ブロワーシリンク、高速脱水機、コンピュータスケール、屋外設置型モーターコンプレッサ、資材洗浄設備、冷水機、洗浄用電解水生成器、断熱タンクユニット、衛星管理設備、監視カメラ)	392,218,893	176,575,000	88,287,000	0	127,356,893	令和3年3月10日	新型コロナウイルス感染症等による不安定な情勢のなか、ねぎの輸入量の減少に対応した国産ねぎの安定供給、カットねぎの需要の高まりへ対応することができている。また、雇用創出により地域への貢献、売上額の増加により経営基盤の安定に繋がっている。目標達成に向け、引き続き、出荷量の拡大に取り組んでいく。	事業で導入したねぎ加工施設を活用し、ねぎ輸入量減少という市場環境に上手く対応しながら小売や飲食との取引を拡大し、順調な経営を続けている。県としても端境期出荷への生産技術や販路確保等、多面的な支援を継続する。	
都道府県平均達成率		67.3%						総合所見			2地区のうち、有限会社氏家農場の取組は目標を概ね達成しているが、株式会社やまもとファームみらい野の取組は、主に人員不足に起因する病虫害多発の結果、目標未達成である。目標未達成となった地区について、供給力向上支援等に取り組み、早期の目標達成を目指す。																			

- (注) 1 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
2 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
3 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
4 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。